

# 取扱説明書

## 電磁式マイクロフィーダー MF-1A形

### 筒井理化学器械株式会社

〒110-0003 東京都台東区根岸1-1-31

TEL 03-3845-2011

FAX 03-3842-5852

E-mail: [sales@e-tsutsui.com](mailto:sales@e-tsutsui.com)

仕 様
-----

電 源

100V・50VA・50/60Hz

(本器は周波数により振動が変わります。筐体に表示されている周波数を確認し御使用下さい)

ホッパー

容 量・・・約 1,000ml (ロート部、筒部、蓋)、SUS304 製

排出口径・・・外径φ20mm

トラフ

寸 法・・・巾 25mm×長さ 250mm SUS304 製

ブリッジ防止器 (オプション)

ブリッジを防止するための器械です。

電子天秤 (オプション)

AC アダプター、コンパレータ、信号ケーブル、取扱説明書 付  
測定値により、つぎの 3 機種が選択できます。

計量レンジは、内部設定で可変できます。

形 名	計量レンジ 1 最大 g/表示 g	計量レンジ 2 最大 g/表示 g	計量レンジ 3 最大 g/表示 g
EW-150i	30/0.01	60/0.02	150/0.05
EW-1500i	300/0.1	600/0.2	1500/0.5
EW-12Ki	3000/1	6000/2	12000/5

付 属 品

コード類・・・電源コード、接続コード

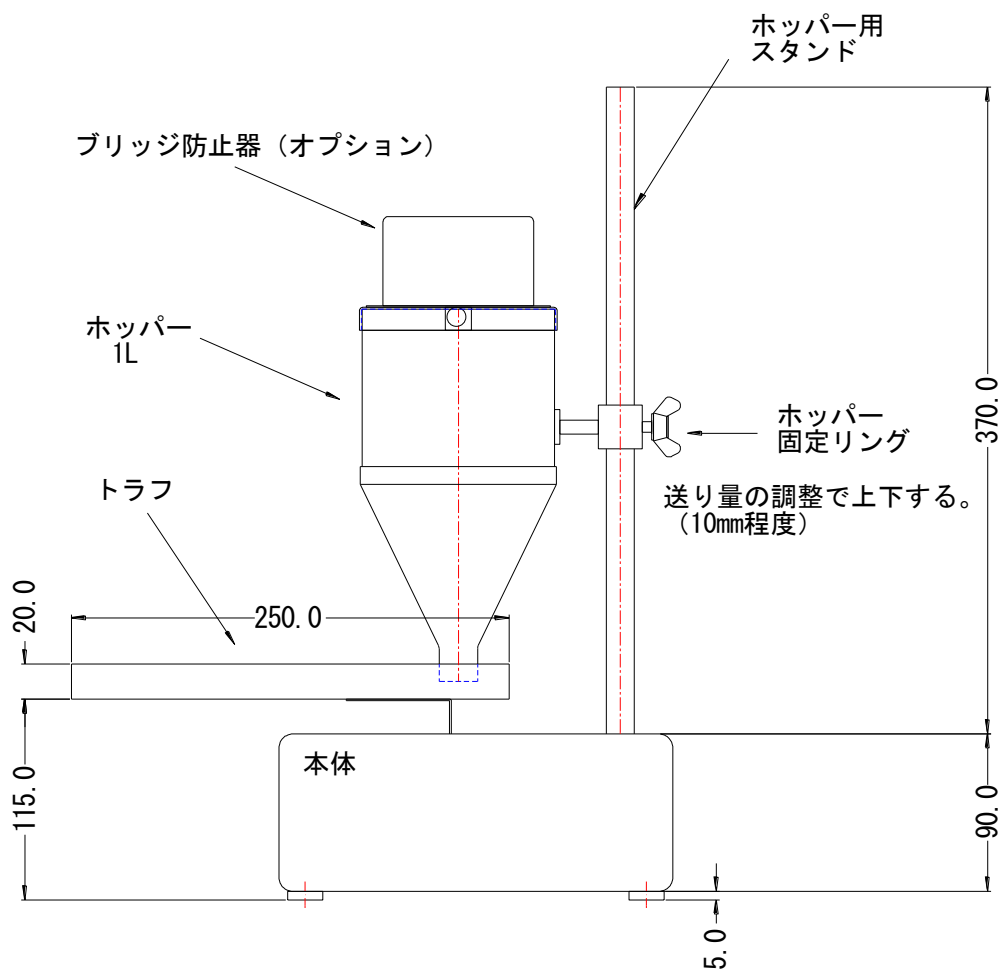
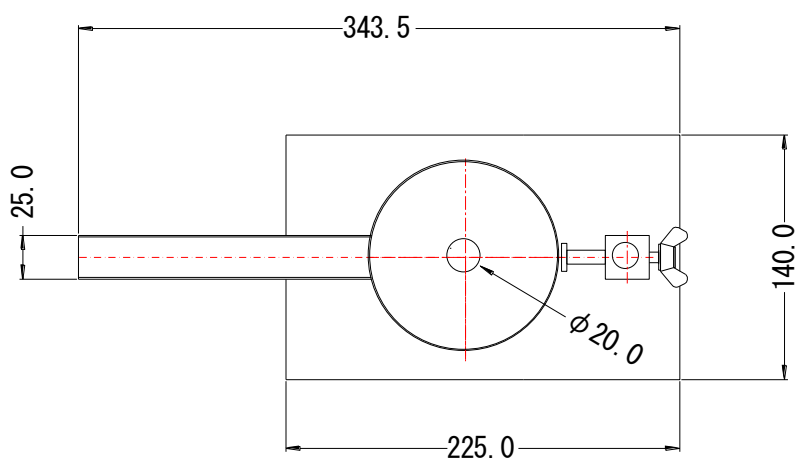
取扱説明書・・・1 式

部 品 名
-------

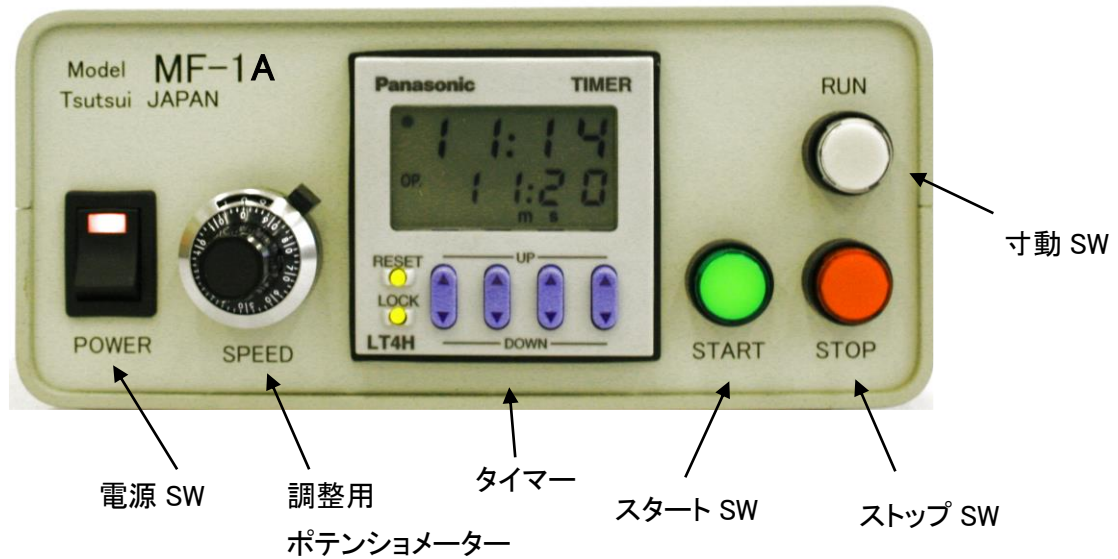
- |   |            |  |
|---|------------|--|
| A | 本 体        | (前面) 動作確認用 LED……フィーダーの動作時に点灯<br>(背面) 電源コネクタ……6ピン (信号も含む)<br>電源コネクタ……2ピン (中) ブリッジ防止器用<br>信号コネクタ……2ピン (小) 電子天秤用<br>(上面) トラフ取付け穴<br>ホッパー用スタンド取付け穴 |
| B | トラフ        | トラフ取付け金具   |
| C | ホッパー       | ホッパー<br>ホッパー用スタンド棒<br>ホッパー固定リング  |
| D | コントロールボックス | (前面) 電源スイッチ<br>振動調節ボリューム<br>タイマー<br>開始 SW<br>停止 SW<br>寸動 SW<br>(背面) 電源コネクタ……6ピン<br>100V 電源コネクタ……3ピン  |
| E | その他        | 電源コード、100V 電源コード<br>取扱説明書  |

各部名称と機能

1. 本体部



## 2. コントロールボックス



電源 SW・・・メインスイッチ

調整用ポテンシオメーター・・・送り速度の調整用（10回転）

出荷時には、5.0 に設定しています。

スタート SW・・・スタートスイッチ

ストップ SW・・・ストップスイッチ（タイマーにて停止した場合にも点灯）

寸動 SW・・・寸動スイッチ（停止中に寸動させたいときに使用、押している間動作します）

タイマー・・・動作時間を設定します。

タイマーの設定は、青色スイッチの UP、DOWN で行います。

時間は、4桁（最大99分：最大60秒）で設定します。

設定しましたら、RESET スイッチを押して設定完了です。

出荷時には、10分00秒に設定してあります。

## 使用 方 法

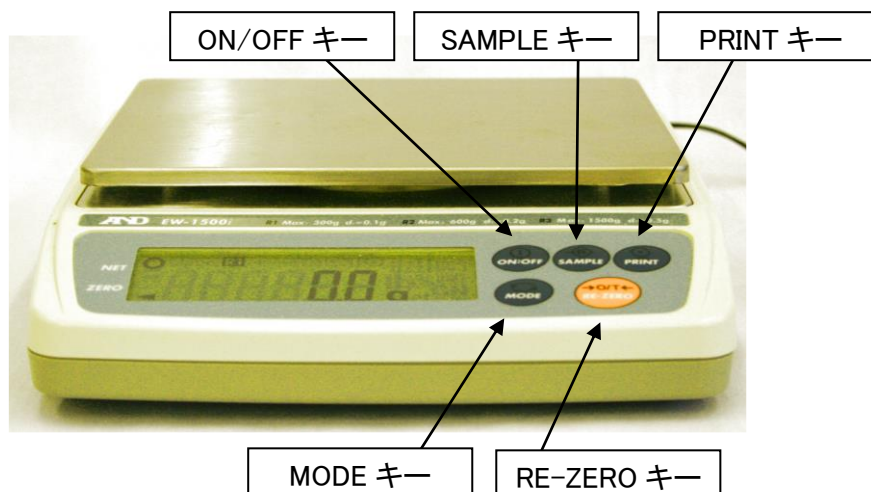
1. 梱包を開き、付属品の確認をして下さい。
2. 電源スイッチが **OFF** であることを確認して下さい。
3. 本体を水平な場所に設置しコネクター類を接続（2種類）して下さい。
4. ホッパーに供給する試料を、粉スコップ、薬匙、等で静かに投入して下さい。  
（振動を与えて粉体が固まらないように注意下さい）
5. 電源スイッチを **ON** にし、振動調節ボリュームを回しますとトラフが振動し試料がトラフ上を移動します。
6. 単位時間の排出量を計量し、振動調節ボリュームなどにより供給量を調整して下さい。供給量の調整は、次節を参照願います。
7. 必要に応じてタイマーの時間を設定して下さい。
8. 他の試料を供給する時は、残っている粉体を出来るだけ排出し分解、清掃、洗淨してください。

## 供給量の調整

1. 振動調節ボリュームにより供給量を調整する。
2. ホッパー排出部とトラフの間隔をかえる。間隔を調整することにより、トラフ上の試料の厚みが変わり試料の供給量が変わります。
3. さらに、供給量が通常の調整では足りない場合は、内部の調整で供給量を変化させることができます。また、ホッパーの排出口径およびトラフの幅を変えることにより、供給量の調整ができます。これらの場合は、弊社に問い合わせ願います。

## 電子天秤の使用法

オプションの電子天秤のコンパレータを使用すると、設定した供給量(重さ)で供給を停止させることができます。

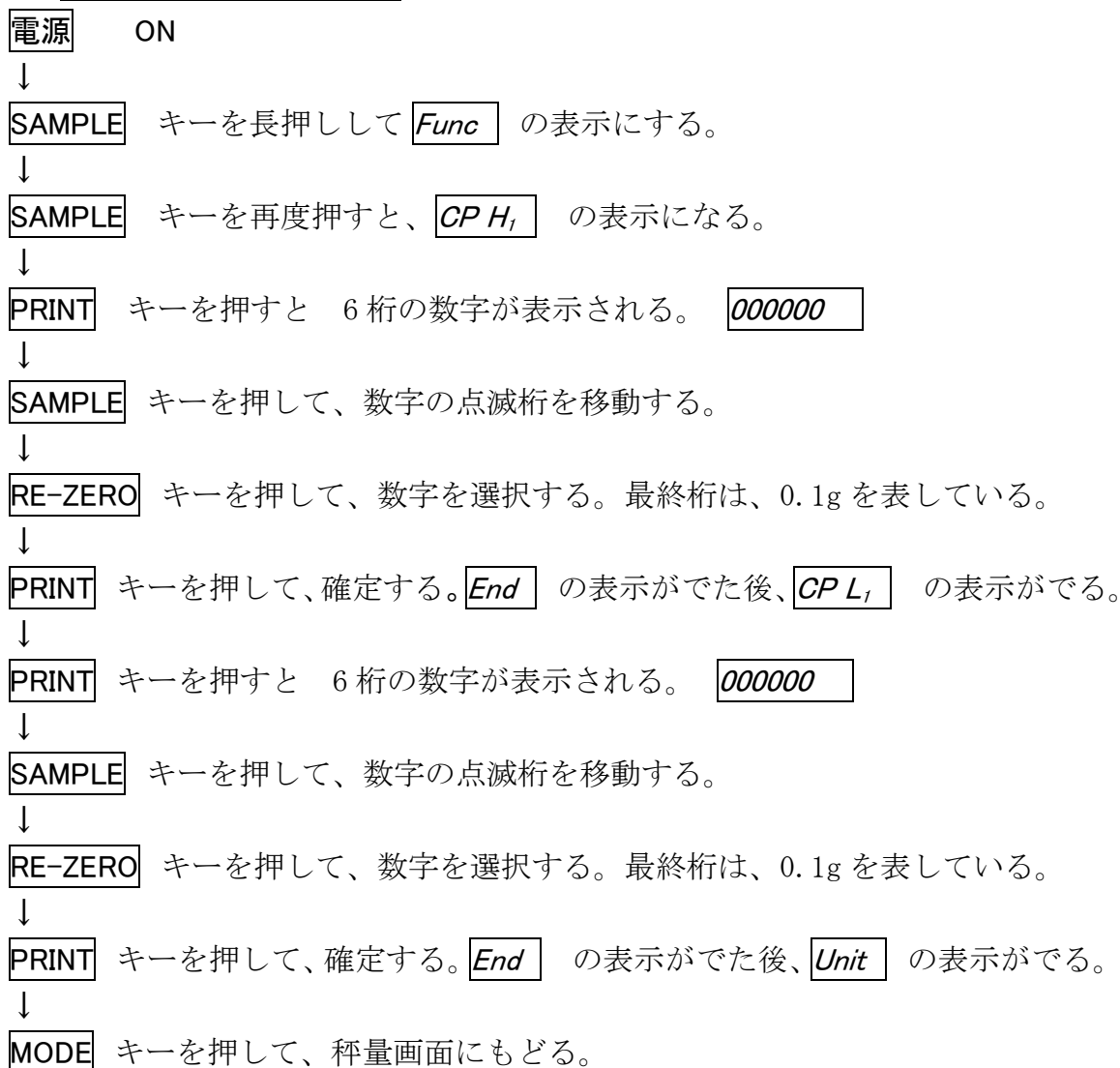


電子天秤の裏面にある、コンパレータ入力端子に付属の信号線を接続します。信号線は、1番と4番に接続します。(Hiレベルで停止信号が出力されます) 信号線にプラス、マイナスはありません。どちらを選択してもかまいません。この機能では、設定値より多く供給されます。それは、トラフから天秤までに存在する試料が追加されるためです。従って、設定値はその量を補正する必要があります。

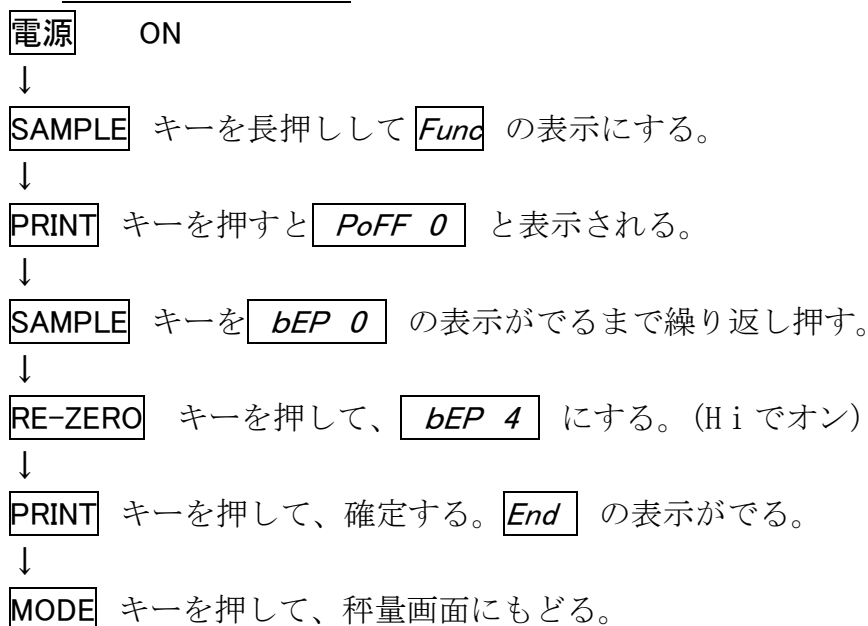
### ① コンパレータの設定方法

- 電源 ON
- ↓
- SAMPLE キーを長押しして **Func** の表示にする。
- ↓
- PRINT キーを押すと **PoFF 0** と表示される。
- ↓
- SAMPLE キーを **CP 0** の表示がでるまで繰り返し押す。
- ↓
- RE-ZERO キーを押して、**CP 3** にする。(>+4のプラスデータを比較する)
- ↓
- PRINT キーを押して、確定する。**End** の表示がでる。
- ↓
- MODE キーを押して、秤量画面にもどる。

## ② 上限、下限値の設定方法



## ③ ビープ音の設定方法





御 注 意
-------

- ※ 試料の流動性、乾燥状態、粒度、その他粉体特性によりホッパーでブリッジをしたり、詰まったりし供給できない場合があります、御注意下さい。
- ※ ブリッジを起こす場合は、別売りブリッジ防止器があります。(試料の流動性、粉体特性、供給量等により使用できない場合もあります)
- ※ 試料をホッパーに投入する時、スコップ等で静かに投入し、振動等を与えずに蜜充填にならないよう御注意下さい。
- ※ 本器は電源周波数(50/60Hz)により振動が大きく変わります、本体に表示されており周波数を確認の上ご使用下さい。
- ※ 電源電圧の変動する場合には、振動が変化するため定量性が悪くなります。精度良く供給する場合は定電圧装置をご使用下さい。
- ※ 本体には水が掛からないようにして下さい。(故障の原因となります)